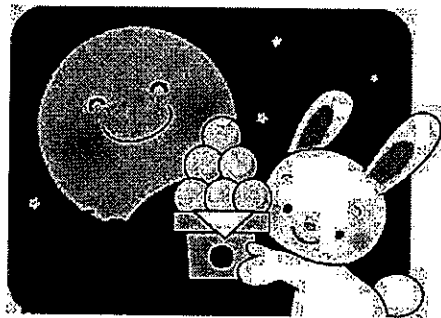




冬には「読書感想画コンクール」もあります。興味のある人は、こちらもぜひ挑戦してみてくださいね。

新着図書

第1期分の新しい本が図書館に入っています。合計134冊。各クラスに一覧表が掲示されています。気になる本があれば、ぜひ図書館に足を運んでください。図書館入り口前のボードには、司書の北浦さんによる、新書紹介カードを掲示しています。心惹かれる本があれば、ぜひ借りて読んでみてくださいね。

ただいま、第2期分の購入図書の希望を受付中です。図書館にリクエストボックスがあるので、リクエストしてくださいね。

図書委員 今月のオススメ



3年F組



< 学年ビリのギャルが
1年で偏差値を40上げて
慶應大学に現役合格した話 >

① あらすじ

一人の教師との出会いが、金髪ギャルとその家族の運命を変えた

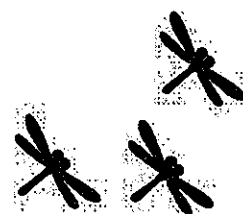
② 感想・おすすめ理由

本当にどうなのような話ですごく心に響きます。
勉強のモチベーションUPにいい本です。
勉強の仕方なども書いてあります。

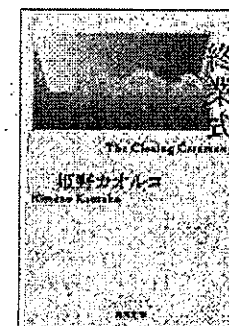
ぜひ読んでみて下さい！

著者：坪田 信貴

出版社：KADOKAWA



2年B組



「読書式」 作者 植野 カオルコ

< あらすじ >

かりがねの作。高校生代。R。

日々を共に過ごして 4人の男女。

ネットやメールしたり、文化祭に

参加したり、その中で 恋心を抱いたり

卒業してから、お互いのことを 思い合っている。

卒業から20年のあひだに交わった、あつたは出たあつた

はあつた。著者、FAX、XEROXで全編を収録。

それとあつたはあつた、行間から見事に浮かび

上がる。植野文学の 読者の力作。

2年C組

季節も秋になり、少しずつ涼しくはなっていくものの、9月の始めあたりは夏の暑い空気もまだ残っていると思います。そこで私が紹介する本は、『全国怪談 オトリヨセ』という本です。著者はこれまで数々の怪談本を作り出し、2009年に賞も受賞した、黒木 芳子 さんです。出版元は角川ホラー文庫から。

内容は本の名前や著者から分かる通り、日本の各都道府県から集められた実話の怪談が収録されています。読んでみた私なりの感想では、それぞれ怪異が起こった場所の中でもトンネルを中心とした話が多いとびっくりしました。やはりトンネルというのは中々暗く、人気がほとんどない場所なだけあって、それが一層 恐怖を感じさせるのだと思います。

そのトンネルを題材とした中でも、石川県の話が おすすめです。

霊は文中に現れませんが、トンネルでのドライブ中に不可解な事が起こります。



7月の図書館利用状況			
1年生	2年生	3年生	合計
16人	51人	157人	224人

8月の図書館利用状況			
1年生	2年生	3年生	合計
6人	20人	197人	223人

夏休みの期間だったので、利用者の数は少なかったようですが、受験生の3年生は受験勉強をしに来館する生徒がたくさんいました。2階の自習机で、じっくり落ち着いて勉強していたようです。受験勉強もはかどったことと思います。

これから秋が少しずつ近づき、過ごしやすい気候へとうつり変わっていきます。そして、読書に最適な「読書の秋」！